

団体・機関名	活動予定内容
防府医師会	・市民公開講座 日付:令和 6 年 11 月 24 日(日)、場所:デザインプラザ防府 内容:人生会議(ACP)を始めてみませんか。 講師:医)いしいケア・クリニック院長 原田唯成先生 ・地域包括ケア委員会・男女共同参画委員会 合同研修会 日付:令和7年 3 月9日(日)、場所:ルルサス防府 内容:災害がおきる前にできること(仮)
防府歯科医師会	・訪問診療が可能な歯科医院 車椅子で対応が可能な歯科医院等のリスト作成、ホームページへの掲載 ・訪問診療及び高齢者への対応等の研修会を開催 ・訪問診療協力医の募集
防府薬剤師会	・他職種との共催による研修会(年 3 回程度実施予定) ・「多職種連携WS」や「ケアカフェHOFU」「見える事例検討会」の開催(規模や場所、回数など未定) ・「はあとふるねっと」定例会および全体会への参加 ・多職種連携の活動報告として学会発表 ・山口防府認知症疾患医療連携協議会への参加 ・他職種に向けて「お薬管理BOX」の普及と正しい服薬への啓蒙活動 ・退院時カンファレンスへの参加 ・地域での山口県健康エキスパート薬剤師としての活動推進
山口県訪問看護ステーション協議会(防府支部)	・BCP演習(市内のステーションで、シュミレーションし実際に備える。) ・研修開催(R7年 1 月 26 日) 内容はスピリチュアペイン ・事例検討会 1 回/年 ・会議 4回/年 ・機関誌作成
山口博愛病院 地域連携室	・地域連携室の前方支援は看護師1名、後方支援は社会福祉士1名体制で対応しています。 ・入退院支援をできるだけ早期から行っています。医療面だけでなく退院後の生活を見据え、院内の多職種と在宅を支援する専門職と退院前訪問、退院前カンファレンスを行い、退院後に不安がないように準備を行っています。 退院後に問題がおこった時は、医師をはじめ外来や地域連携室、在宅の専門職と協働し緊急入院の受け入れや在宅支援の見直しができる体制をとっています。またケースによっては、医師が訪問診療や往診の対応を行っています。 ・病棟看護師の入退院支援への意識を高めるため、院内研修を行っています。
山口県立総合医療センター 地域連携室	・令和 6 年 4 月に、腫瘍センター、手術支援ロボットセンターを設置した。これらの啓発活動を行う。 ・医療機関連携において、クラウド上のチャットを利用した転院調整システムを導入する。
山口県作業療法士会	・地域支援ができる人材育成のための研修会を開催(3 回) ・訪問アセスメントへの協力 ・通いの場支援 ・幸せます会議(地域ケア会議)への参加・呼びかけ ・保健センター(健康増進課)のイベントへの協力
山口県理学療法士会	・通いの場支援の継続 ・訪問アセスメント支援の継続 ・地域ケア会議への参加 ・短期集中検討委員会への参加 ・市内健康イベント等への参加
山口県栄養士会防府地域専門部会	・病院、介護施設、在宅の栄養士に、連携状況及び問題点等についてアンケートを行う予定。 またアンケート結果に基づいて対策検討の話し合いを行う予定。
健康増進課	・三師会主催の「市民公開講座 ほうふ健康フォーラム」を共催し、市民へ健康づくりの普及啓発を行う(令和 6 年 11 月 3 日(日))。 ・野島住民が安心して生活ができるよう、野島健康相談と家庭訪問を引き続き実施する。 ・急な病気などの時に、安心して受診・相談できる医療体制の確保・周知を継続して行う。 ・救急医療電話相談(＃7119)の普及啓発、二次救急の周知 ・休日診療所における一次救急(休日・夜間診療)の開始(10 月～週 2 日開設予定)

令和 6 年度の活動予定内容

資料 2－1

防府西地域包括支援センター	・医療・福祉等の関係機関と連携を図り、医療・介護を一体的に提供でき、地域の高齢者が住み慣れた地域で、不安なく生活を送ると同時に、終活・人生会議について、普及啓発に努める。 ・ワンストップサービス拠点とした対応ができるよう、知識・スキルの向上に努める。
防府南地域包括支援センター	・疾患を抱えても住み慣れた生活の場で、自分らしい生活が続けられるよう、関係機関と連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一時的に提供できるよう努めていきたい。 ・家族、支援者の負担の軽減を図れるよう、随時情報収集も行っていきたい。
防府市地域包括支援センター （高齢福祉課）	・医療・介護連携推進協議会の開催 ・在宅医療の手引きの見直し ・医師会と共催で、人生会議（ACP）に関する市民公開講座の開催（11 月 24 日） ・多職種研修会の開催（時期・内容は未定）